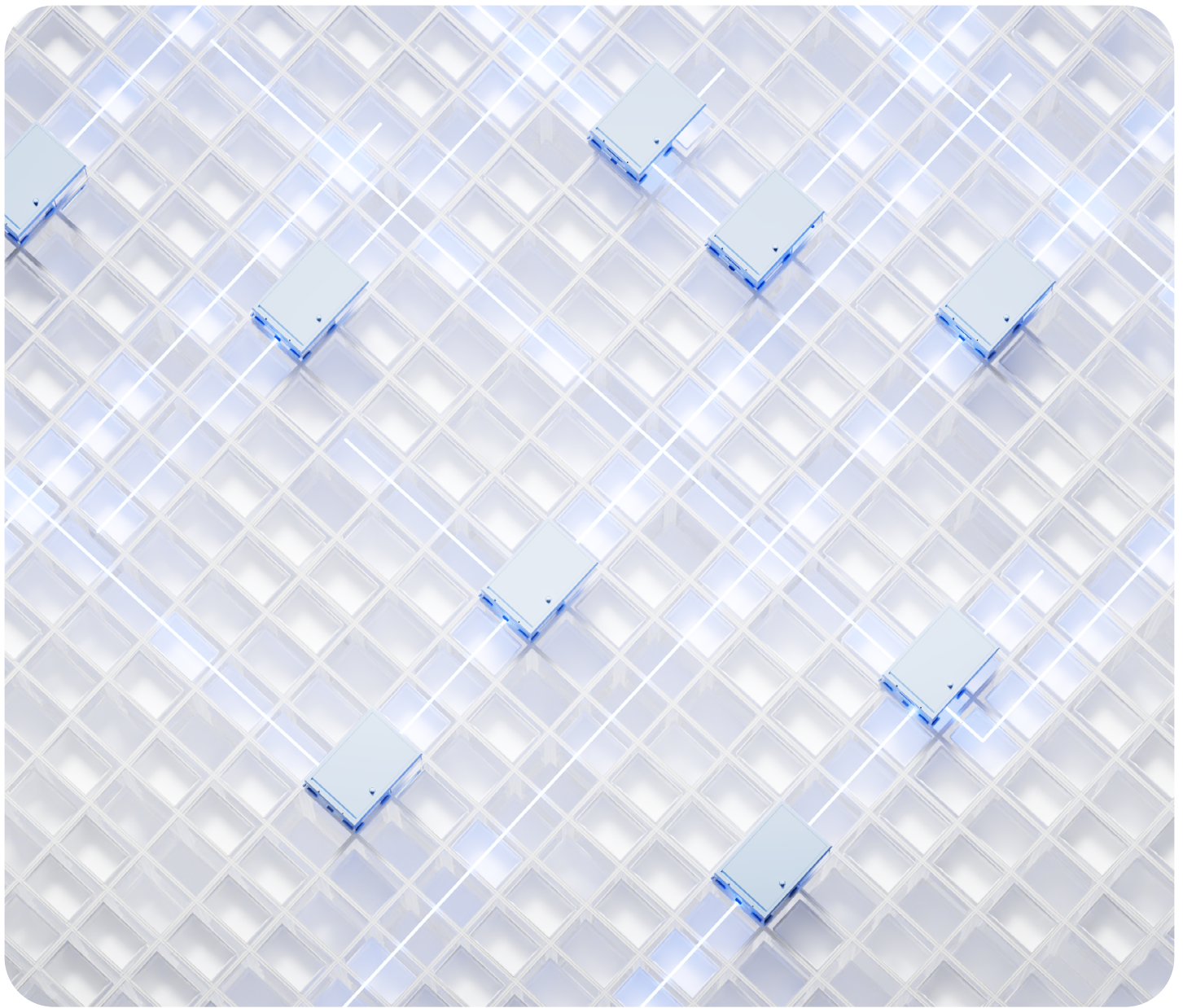




CubeAnalytics™

データから実際のパフォーマンスを改善

よりわかりやすく、よりスピーディーに、
より高いパフォーマンスを実現

AutoStore™システムでは、大量のオペレーションデータが生成されます。こうしたデータを分析し、日々のオペレーションですぐに使えるようにするには、手作業では難しい場合があります。

CubeAnalyticsは、クラウドベースの分析プラットフォームです。システムパフォーマンスに関する体系的なデータを、ほぼリアルタイムで確認できる設計となっています。オペレーションのログデータを自動的に収集・分析することで、複雑なシステム信号から、すぐに活用できるわかりやすい情報を導き出します。

CubeAnalyticsを使用することで、オペレーターやエンジニアは問題を早期に検出して対応できます。手動によるログ分析や、専任のデータスペシャリストに頼ることなく、安定したシステムパフォーマンスを維持します。可視性を高め、素早く診断を行うことで、長期的なシステム効率や総所有コストを損なうことなく、オペレーションの中断を削減します。

メリット

パフォーマンスに関する問題の早期発見

AIを活用して異常を検知。オペレーションに影響を与える前に、異常なシステム動作や新たな問題を特定します。

安定したスループットとサービスレベル

ロボットの動作、ポートのパフォーマンス、ピンの流れを可視化。スループットやオペレーションにおける安定性の維持や、求められるサービスレベルの達成を支援します。

スピーディーな診断とトラブル対応

AIが健全性に関するサマリーを生成。手作業で診断を行う必要はありません。素早いトラブル対応で、よりスピーディーに問題を解決できます。

わかりやすいパフォーマンスレポート

自動化されたダッシュボードとレポートにより、システムの傾向、稼働時間、オペレーションの健全性をリアルタイムで把握できます。

より適切なオペレーション計画を立案

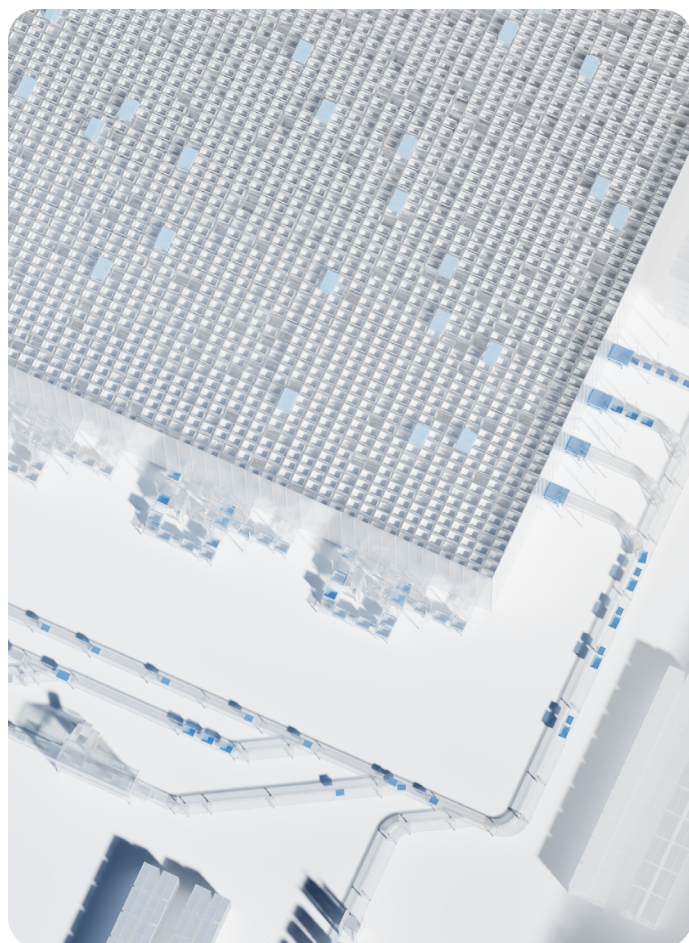
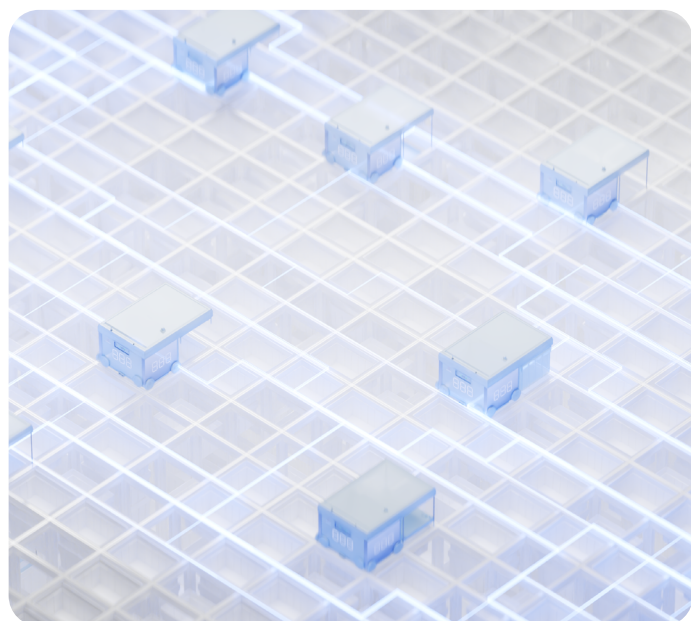
リアルタイムのデータと過去のデータを活用し、人員の配置、作業負荷の分散、オペレーションの調整について、より適切な意思決定を行えるよう支援します。

総所有コストの低減

問題の早期発見とスピーディーな診断により、計画外の停止やオペレーションの中断を削減します。これにより、安定したシステムパフォーマンスや長期的な業務コストの削減につながります。

信頼性の高い一元的なデータソース

オペレーション、エンジニアリング、マネジメントといった各チームが、同じシステムの情報にアクセス可能。素早い連携やよりの確な意思決定を実現します。



主な機能

AutoStore Intelligence™によるAI診断

CubeAnalyticsは、実際のオペレーションデータとシミュレーションデータから学習した高度な分析により、システムの動作を読み取り異常を検知します。ロボットの異常な動作やパフォーマンスに関する潜在的なリスクの特定など、すぐに役立つ情報を生成します。これにより、より早期に是正措置を講じることができます。

健全性に関するサマリーの自動生成と異常検知

AIが生成する健全性に関するサマリーを活用し、システムの状態を素早く評価できます。また、異常検知機能により、調査が必要なコンポーネントや動作を特定します。

システムパフォーマンスを一元的に可視化

AutoStoreの主なパフォーマンス指標を一元的にモニタリングできます。たとえば、スループット、稼働時間、ロボットの稼働率、ポートの効率、ビンの待機時間、バッテリー残量、グリッド全体のモジュール動作状況といった指標を確認することができます。

役職に応じたダッシュボード

オペレーター、技術者、エンジニア、マネージャーといった役職に応じたダッシュボードにアクセスすることで、業務に直結する指標や情報を確認できます。

複数拠点のモニタリング

AutoStoreが導入されている複数の拠点のパフォーマンスを、安全性の高い1つの管理画面から一括で追跡・比較できます。オペレーション全体の一元管理が可能です。

安全性の高いアクセスとデータ保護

追跡可能なシングルサインオン (SSO) によりアクセスを管理。チーム全体でアクセス制御を実現し、監査にも対応します。

CubeAnalyticsは、ISO 27001およびSOC 2に対応したクラウドインフラ上で使用できます。データは転送時および保存時のいずれでも暗号化され、お客様ごとに論理的に分離されます。本プラットフォームは、オペレーションデータを保護する設計となっています。また、在庫レベルのデータは収集されません。

